

## 研究活動 Research Activities

飯塚 隆 / Takashi IIZUKA

### [展覧会]

「橋本コレクション 指輪 神々の時代から現代まで— 時を超える輝き」(2014年7月8日-9月15日) 企画構成

「黄金伝説展」(2015年10月16日-2016年1月11日) 企画準備

### [著作]

『橋本コレクション 指輪』展カタログ編集、セクション解説・展示ガイド執筆、国立西洋美術館/東京新聞、2014年7月

### [翻訳]

『橋本コレクション 指輪』展カタログ、セクション解説、国立西洋美術館/東京新聞、2014年7月

### [研究活動]

ジャン・パオロ・パニーニ作品に関する現地調査、パリ、ローマ、2015年2月26日-3月6日

### [講演]

「橋本コレクション 指輪」展(スライドトーク) 国立西洋美術館講堂、2014年7月18日、8月8日、9月5日

「橋本コレクション 指輪」展(先生のための鑑賞プログラム) 国立西洋美術館講堂、2014年8月1日

「橋本コレクション 指輪」展(ヒコ・みづのジュエリーカレッジのオリエンテーション) 国立西洋美術館講堂、2014年7月16日

「ニーベルングの指環」(Fun with Collection 2014 リング・リング、「映画とトーク」) 国立西洋美術館講堂、2014年7月27日

### [雑誌・新聞記事等]

「橋本コレクション 指輪」『ゼフュロス』59号、国立西洋美術館、2014年5月

「橋本コレクション 指輪」『うえの』663号、2014年7月、pp. 34-37

### [テレビ出演]

BS日テレ「ぶらぶら美術・博物館」、「橋本コレクション 指輪」展、2014年8月15日

### [外部資金]

平成24-26年度科学研究費補助金基盤研究(C)「ジャン・パオロ・パニーニの風景画に描かれた古代建築と古代彫刻のデータベース構築」(研究代表者)

川口雅子 / Masako KAWAGUCHI

### [小論・報告等]

『「ディスカバリー」が開く新たな美術文献検索手段』『アート・ドキュメンテーション通信』102号、2014年8月、p. 20

「美術作品の来歴研究と美術館」『ECHO』(DAAD 友の会機関誌) 30号、2014年11月、pp. 28-30

「美術書誌のいま — 革新的な美術文献探索システム『アート・ディ

スカバリー・グループ目録』『アートスケープ』2014年11月01日号(web マガジン)

「IFLA リヨン大会、『美術書誌の未来』会議参加報告 — 欧州会議にみる美術図書館の専門性」『アート・ドキュメンテーション通信』104号、2015年1月、pp. 11-12

### [学会発表・研究会]

「美術館の情報資料室はどのような情報を扱っているか」筑波大学知識情報特論講演、筑波大学、2014年10月22日

「アート・ディスカバリー・グループ目録(Art Discovery Group Catalogue)と美術書誌の現在」日本図書館協会情報組織化研究グループ月例研究会報告、大阪学院大学、2014年11月15日

「美術作品の記録を残すということ — 美術館アーカイブズの視点から」京都市立芸術大学芸術資源研究センターシンポジウム「来たるべきアート・アーカイブ 大学と美術館の役割」発表、国立新美術館、2014年11月24日

「美術文献情報をめぐる最近の国際動向 — 米国ゲティ研究所と『アート・ディスカバリー・グループ目録』を中心に」東京文化財研究所研究会報告、2015年1月27日

「ミュージアムと西洋美術作品情報 — 近年注目される来歴研究という課題」文化資源デジタル・アーカイブズに関するワークショップ「ミュージアムにおけるデジタル・アーカイブズの整備と活用」研究報告、国立民族学博物館、2015年2月27日

『「全国美術館会議会員館 収蔵品目録総覧2014」作成にいたる経緯と作業経過報告』全国美術館会議第29回学芸員研修会「美術館はホームページでどのような作品情報を発信すべきか? / 学芸員は美術情報資料をどこで入手するのか?」報告、国立西洋美術館、2015年3月9日

### [外部資金]

平成26年度科学研究費補助金研究成果公開促進費(研究成果データベース)「国立西洋美術館所蔵作品データベース」(研究代表者)

平成26年度科学研究費補助金基盤研究(B)「ミュージアムと研究機関の協働による制作者情報の統合」(研究分担者)

### [その他の活動]

明治大学 e-Learning「専門資料論」「専門図書館論」映像取材協力、国立西洋美術館研究資料センター、2014年8月4日

国立美術館のデータベース作成と公開に関するワーキング・グループ検討委員

文化関係資料アーカイブズに関する有識者会議(文化庁) 委員

アート・ドキュメンテーション学会国際交流委員長

川瀬佑介 / Yusuke KAWASE

### [展覧会]

小企画展「私は見た: フランシスコ・デ・ゴヤの版画における夢と現実」、2014年7月8日-9月15日

### [執筆]

コラム「チャールズ1世の処刑と美術」『橋本コレクション 指輪 神々の時代から現代まで— 時を超える輝き』展カタログ、飯塚隆編、国立西洋美術館/東京新聞、2014年、pp. 212-213

論文「幻視絵画としてのグエルチーノ作《ロレーの聖母を礼拝するシエナの聖ペルナルディーノと聖フランチェスコ》」および作品解説10点、『グエルチーノ』展カタログ、渡辺晋輔編、国立西洋美術館／TBSテレビ、2015年、pp. 27-31ほか

#### [翻訳]

解説一部、『橋本コレクション 指輪』展カタログ、飯塚隆編、国立西洋美術館／東京新聞、2014年

ルイー・フィカッチ「ローマのグエルチーノ」『グエルチーノ』展カタログ、渡辺晋輔編、国立西洋美術館／TBSテレビ、2015年、pp.17-22

#### [学会発表等]

「国立西洋美術館『グエルチーノ』展出品作品に関する考察」第7回近世美術研究会、日本大学芸術学部江古田キャンパス、2015年3月21日、聴講15名

#### [その他]

上智大学大学院非常勤講師（文化交渉学研究科）

全国美術館会議企画幹事

スペイン・ラテンアメリカ美術史学会運営委員

「スペイン・ラテンアメリカ美術史研究」査読委員

新藤 淳 / Atsushi SHINFUJI

#### [展覧会企画]

「フェルディナント・ホドラー展」2014年10月7日-2015年1月12日  
「No Museum, No Life? — これからの美術館事典 国立美術館コレクションによる展覧会」東京国立近代美術館、2015年6月16日-9月13日開催予定  
「クラーナハ展」(仮称) 2016年10月開催予定

#### [執筆等]

##### ・編著

『フェルディナント・ホドラー展』カタログ、国立西洋美術館／NHK／NHKプロモーション、2014年

##### ・エッセイ、雑文等

「イメージのリズムを感じて」（フェルディナント・ホドラー紹介）『ミセス』2014年8月号、p. 59

「フェルディナント・ホドラー展」『ゼフュロス』No. 60、2014年8月、pp. 1-2

「ことはじめからイメージは盗まれていた — デュエラーに見る複製のジレンマ」『美術手帖』2014年9月号、pp. 80-87

「フェルディナント・ホドラー展」『うえの』2014年10月号、pp. 26-28

「フェルディナント・ホドラー「木を伐る人」」『日本経済新聞』2014年11月13日

「美術館は踊る — ワイズマンが見つめる内実 映画「ナショナル・ギャラリー 英国の至宝」」『美術手帖』2015年1月号、p. 209

「日本からキュレーションの未来を考える」蔵屋美香・黒瀬陽平・松井茂各氏との共著（座談会記録）、フィルムアート社編『キュレーションの現在 — アートが「世界」を問い直す』フィルムアート社、2015年2月、pp. 186-214

#### [口頭発表・講演等]

##### ・口頭発表

「フェルディナント・ホドラー — 絵画のリズムを求めて」日本スイス国交樹立150周年記念国際シンポジウム「フランス語圏スイス再考」（主催：慶應義塾大学教養研究センター）、慶應義塾大学日吉キャンパス、2014年10月11日

##### ・講演

「フェルディナント・ホドラーについて」日本工業倶楽部、2014年9月1日

「フェルディナント・ホドラー リズムの画家」（NHK 主催自治体講演会）江東区古石場文化センター、2014年10月7日／台東区生涯学習センター、2014年11月6日／くにたち福祉会館、2014年11月13日／町田市立中央図書館、12月13日

「フェルディナント・ホドラーとは？ — いま、なぜホドラーか？」（MMM 講座）DNP 銀座ビル、2014年12月5日

「リズムの震源地 — ホドラーの芸術思想とその余波」国立西洋美術館、2014年12月7日

「ある芸術家像の編集 — フェルディナント・ホドラー展の場合」鳥取大学、2015年1月30日

「リズムが求められるとき — フェルディナント・ホドラーと同時代の芸術思想」兵庫県立美術館、2015年3月8日

##### ・トークイベント

「東洋と西洋の間に — 智・感・情の謎をめぐって」（梅津庸一氏との対談）ARATANIURANO、2014年5月24日

「山を描く、山を撮る — 自然が芸術にもたらす想像力とは」（石川直樹氏との対談）青山ブックセンター本店、2014年11月1日

「行くか、持ち込むか、創るか — 小説家と絵の物語を旅する〜」（江國香織氏との対談）la kagu、2014年11月12日

「フレデリック・ワイズマン「ナショナル・ギャラリー」をめぐって」（馬淵明子・岩井希久子・寺島洋子各氏との座談会司会）国立西洋美術館、2014年12月23日

「日本からキュレーションの未来を〈さらに〉考える」（蔵屋美香・黒瀬陽平・松井茂各氏との座談会）紀伊國屋書店新宿本店、2015年3月20日

#### [メディア対応など]

「現代につながる、線とリズム — 「フェルディナント・ホドラー展」」（倉本美津留氏との対談記録）Synodos: Academic Journalism（ウェブサイト）、2014年11月14日掲載

「生のリズム！ — スイスの巨匠“ホドラー展”」（NHK 総合「ひるまほつと」）2014年11月28日放送

「スイスアルプスの奇才「フェルディナント・ホドラー展」〜生命の「リズム」を描く不思議世界〜」（BS日テレ「ぶらぶら美術・博物館」）2014年11月28日放送

「フェルディナント・ホドラー 果てしなき変遷」（NHK Eテレ「日曜美術館」）2014年11月30日放送

「フェルディナント・ホドラー展紹介」（世田谷コミュニティー FM、FMCOCOLO）2014年12月21日放送

#### [その他]

「平成26年度外国人芸術家・文化財専門家招へい事業」（招聘者：オスカー・ベッチュマン氏 [スイス芸術学研究所]）本事業内で講演会「フェルディナント・ホドラーの象徴主義的傑作」（国立西洋美術館、2014年10月19日）を開催、など

陳岡めぐみ / Megumi JINGAOKA

#### [展覧会]

「ボルドー展 美と陶酔の都へ」準備（福岡市博物館：2015年1月31日-3月29日／国立西洋美術館：6月23日-9月23日）開催予定

#### [執筆]

コラム「アール・デコの果実と花々」、概説「主流派、アール・ヌーヴォー、アーツ・アンド・クラフツ」『橋本コレクション 指輪 神々の時代から現代まで — 時を超える輝き』展カタログ、国立西洋美術館／

東京新聞、2014年、pp. 16, 86

作品解説『非日常からの呼び声 平野啓一郎が選ぶ西洋美術の名品』展カタログ、国立西洋美術館、2014年、cat. nos. 5, 20, 21, 22, 31

〔調査・研究〕

科学研究費基盤研究 (A)「西洋近世・近代美術における市場・流通・画商の地政経済史的研究」(研究分担者)

〔教育〕

東京大学人文社会系研究科併任准教授 (文化資源学)

東京大学総合文化研究科非常勤講師

〔その他〕

科学研究費基盤研究 (A)「西洋近世・近代美術における市場・流通・画商の地政経済史的研究」主催による講演の開催、フィリップ・フェルメイレン (ロッテルダム・エラスムス大学 文化経済学 准教授)「市場のための絵画 ―ルーベンスの時代の美術と経済―」国立西洋美術館、2015年1月11日

寺島洋子/Yoko TERASHIMA

〔教育普及活動〕

ボランティア・プログラム指導

スクール・プログラム運営

ファミリープログラム企画・実施

平成26年度 美術館を活用した鑑賞教育の充実のための指導者研修、東京国立近代美術館/国立新美術館、2014年8月4-5日

Fun with Collection 2014「リング・リング」企画実施

〔口頭発表など〕

「建築家・コルビュジエと国立西洋美術館」台東区区民講座、台東区総務部、2014年5月24日

「国立西洋美術館の教育活動」社会教育主事講習、国立教育政策研究所、2014年8月8日

Museum Education in Japanese Art Museums, Herbstakademie 2014, "Museum und Kulturelle Bildung," Bayerische Museumsakademie, Munchner Stadtmuseum, 9 October 2014

「利用者主体の美術館を目指して ―所蔵作品を中心とする Fun with Collection, FUN DAYの試み」全国大学博物館学講座協議会 東日本部会大会、女子美術大学、2014年10月17日

「オーストラリアの美術館における鑑賞教育 ―所蔵作品を活かしたスクールプログラム」共同発表、日本美術教育連合研究発表会、東京家政大学、2014年10月19日

「所蔵作品を用いた米国・豪国の鑑賞教育事情」共同発表、美術科教育学会、上越教育大学、2015年3月28日

〔論文・雑誌・報告書等〕

「豪国の美術館における鑑賞教育 ―所蔵作品を活かしたスクール・プログラムの調査結果に基づく一考察」共著、日本美術教育連合第48号研究論文集、2015年3月31日

報告書『国立西洋美術館の教育普及活動 1959-2012』共著編、国立西洋美術館、2015年3月31日

日独青少年指導者セミナー『博物館における青少年教育』2014報告書、共著、公益財団法人日本博物館協会、2015年3月31日

〔調査・研究活動〕

日本における博物館教育の歴史

科学研究費補助金基盤研究 (B)「美術館の所蔵作品を活用した鑑賞教育プログラムの開発」(研究分担者)

「博物館における青少年教育」に関わるドイツ派遣、2014年9月30日-10月14日

〔その他の活動〕

東京大学人文社会系研究科併任助教授、2014年4月-2015年3月

放送大学主任講師、2000年11月-2016年9月30日

一橋大学大学院言語社会研究科講師、2014年4月1日-7月

日本博物館協会日独交流委員会委員、2014年7月-2015年3月

美濃加茂市民ミュージアム専門委員、2013年4月1日-2015年3月31日

中田明日佳 /Asuka NAKADA

〔展覧会〕

「ジャック・カローリアリズムと奇想の劇場」展 (2014年4月8日-6月15日) 企画・構成

「ネーデルラントの寓意版画」展 (2014年10月7日-2015年1月12日) 企画・構成

〔著作・論文・翻訳等〕

『ジャック・カローリアリズムと奇想の劇場』展カタログ編集、エッセイ・章解説・作品解説等執筆、エッセイ翻訳、国立西洋美術館、2014年

「ピーテル・ブリューゲル (父) 作《ベツレヘムの住民登録》に関する一考察 ―作品解釈を中心に―」『国立西洋美術館研究紀要』19号、2015年3月、pp. 31-47

〔雑誌記事等〕

「ジャック・カローリアリズムと奇想の劇場」『うえの』660号、2014年4月、pp. 25-27

「小企画展「ネーデルラントの寓意版画」」『ゼフュロス』60号、2014年8月

「ネーデルラントの寓意版画」『うえの』667号、2014年11月、pp. 42-43

〔講演〕

「カロ作品に映された17世紀前半のヨーロッパ」国立西洋美術館講堂、2014年5月31日

〔外部資金〕

科学研究費補助金基盤研究 (A)「17世紀オランダ美術の東洋表象研究」(連携協力者)

公益財団法人鹿島美術財団「美術に関する調査研究」助成「クエンティン・マセイス《両替商とその妻》―作品解釈と注文主像」

〔その他〕

アムステルダム国立美術館および大英博物館にて在外研修

袴田紘代/Hiroyo HAKAMATA

〔展覧会〕

小企画展「世紀末の幻想 ―近代フランスのリトグラフとエッチング」(2015年3月17日-5月31日) 企画構成

企画展「橋本コレクション 指輪 神々の時代から現代まで ―時を超える輝き」(2014年7月8日-9月15日) サブ担当、カタログ編集補助



企画展「ボルドー展 美と陶酔の都へ」(福岡市博物館：2015年1月31日～3月29日/国立西洋美術館：6月23日～9月23日、開催予定) サブ担当、カタログ編集補助

企画展「北斎とジャポニスム」(仮称、2017年冬開催予定) 企画準備補佐

#### [論文]

「19世紀末フランスにおける美術と演劇の交差：制作座の挿絵入りプログラムを中心に」2014年度東京芸術大学大学院美術研究科博士学位論文

「エドゥアール・ヴューヤールによる演劇プログラムの挿絵：一八九四年上演のイプセン劇『棟梁ソルネス』の挿絵をめぐって」『美術史』177号、2014年10月、pp. 150-166

#### [翻訳]

エミール・ジャック=ダルクローズ「フェルディナント・ホドラーとリズム」『フェルディナント・ホドラー展』カタログ、国立西洋美術館/NHK/NHKプロモーション、2014年、pp. 222-223

作品解説分担翻訳：

『橋本コレクション 指輪』展カタログ、国立西洋美術館/東京新聞、2014年

『ボルドー展』カタログ、国立西洋美術館/TBSテレビ、2014年

#### [雑誌記事]

「世紀末の幻想：近代フランスのリトグラフとエッチング」『ゼフュロス』62号、2014年2月、p. 3

#### [調査研究]

「19世紀末フランスにおける美術と演劇の交差：挿絵入り演劇プログラムの研究」(2014年度鹿島美術財団「美術に関する調査研究」助成)

#### [講師]

中央大学クレセント・アカデミー「フランス美術散歩：風景画と庭園が語るもの」(2014年11月29日の講義担当)

村上博哉/Hiroya MURAKAMI

#### [著作・論文等]

「東日本大震災と文化財レスキュー」『平山郁夫展』カタログ、広島県立美術館、2014年4月、pp. 90-92

#### [翻訳]

ローランス・マドリヌ「現実と象徴性 — ホドラーの作品におけるヴァランティエヌ・ゴデ=ダレルの死にいたる400日」『フェルディナント・ホドラー展』カタログ、国立西洋美術館/NHK/NHKプロモーション、2014年10月、pp. 209-212

#### [講演・シンポジウム等]

「近代の彫刻について」(常設展講座) 富山県立近代美術館1階ホール、2014年10月11日

「文化財関連団体の体制構築と連携」(パネルディスカッション) 平成26年度文化庁委託事業研究会「これからの文化財防災 — 災害への備え」東京文化財研究所セミナー室、2014年12月4日

「文化財の防災と救援 全国美術館会議の取り組み」(事例報告)「みんなであまるミュージアム」事業第3回全体会議、九州国立博物館研修室、2015年1月21日

「全国美術館会議の活動」(事例報告) 日本博物館協会研究協議会「大規模災害と博物館 阪神・淡路大震災から20年を迎えて」兵庫県立歴史博物館地階ホール、2015年1月29日

「ピカソ — 伝統への挑戦」(土曜講座) プリヂストン美術館ホール、2015年3月28日

#### [その他]

全国美術館会議事務局企画担当幹事

文化審議会美術品補償制度部会専門委員

宮城県美術館協議会委員

東京都美術館外部評価委員会委員

愛知県美術館美術品収集委員会委員

早稲田大学文学学術院非常勤講師

鹿島美術財団推薦委嘱者

美術史学会査読委員 (第178号)

横山佐紀/Saki YOKOYAMA

#### [企画展関係教育普及活動]

マルチメディア機器を使った鑑賞ツールの開発 (カロ展・指輪展)

講演会

先生のための鑑賞プログラム

映画上映 (指輪展)

作品リスト (和英)

会場作品解説パネル (指輪展・ホドラー展・グエルチーノ展)

団体向けオリエンテーション

会場用作品解説パネル拡大文字版制作 (指輪展・ホドラー展・グエルチーノ展)

障がい者のための特別鑑賞会 (ホドラー展)

#### [常設展教育普及活動]

視覚障害者受け入れのプログラム研究・実施 (都立文京盲学校、都立八王子盲学校、宮城教育大学教員)

FUN DAY 企画運営

#### [調査・研究活動]

科学研究費補助金基盤研究 (C)「共和主義におけるピールのミュージアムの教育的役割と視覚による教育の成立」(研究代表、課題番号：24501276)

#### [口頭発表]

「ミュージアムにおける身体 — 視覚と触覚をめぐって」第50回日本比較教育学会全国大会、名古屋大学、2014年7月13日

#### [講演など]

『博学連携教員研修ワークショップ2014 in みんな 学校と博物館でつくる国際理解教育 — センセイもつくる・あそぶ・たのしむ —』ワークショップ「『みんなつくる』で世界と教室をつなごう!」ファシリテーター、国立民族学博物館、2014年8月5日

#### [論文・報告書など]

寺島洋子・横山佐紀・阿部祐子著『国立西洋美術館教育活動の記録1959-2012』国立西洋美術館、2014年

横山佐紀「『ことばによる記述のためのガイドライン』— 視覚に障がいのある人との美術作品鑑賞のために」『立教大学博物館研究ムゼイオン』第60号、2014年、pp. 20-29

平成24-26年度科学研究費補助金基盤研究 (C) 研究報告書『共和主義におけるピールのミュージアムの教育的役割と視覚による教育の成立』(課題番号24501276)、2015年3月、全84ページ

〔教育活動〕

立教大学非常勤講師

国立民族学博物館共同研究員

〔受賞〕

全日本博物館学会賞：『ナショナル・ポートレート・ギャラリー—その思想と歴史』（三元社、2013年）、2014年6月28日

〔その他〕

全国美術館会議 企画幹事

渡辺晋輔 / Shinsuke WATANABE

〔展覧会企画〕

「非日常からの呼び声 平野啓一郎が選ぶ西洋美術の名品」展、2014年4月8日–6月15日

「グエルチーノ展 よみがえるバロックの画家」、2015年3月3日–5月31日

〔執筆〕

作品解説：『非日常からの呼び声 平野啓一郎が選ぶ西洋美術の名品』展カタログ、国立西洋美術館、2014年

作品解説：『ウフィツィ美術館展 黄金のルネサンス ボッティチェリからブロンズイーノまで』カタログ、東京都美術館、2014年

論文：「グエルチーノの絵の“本物らしさ”」『グエルチーノ展 よみがえるバロックの画家』カタログ、国立西洋美術館／TBSテレビ、2015年、pp. 23–26

論文英訳：“La ‘verità nei quadri di Guercino,” 『グエルチーノ展』カタログ、pp. 168–172

章解説・作品解説・人物紹介：『グエルチーノ展』カタログ

〔翻訳〕

ファウスト・ゴッズイ「グエルチーノ—チェントから東京へ」『グエルチーノ展』カタログ、pp. 12–16

〔普及活動〕

グエルチーノ展関連講演

3月10日 日本工業倶楽部

3月16日 イタリア研究会

3月27日 朝日カルチャーセンター

〔雑誌等〕

グエルチーノ展紹介記事

『ゼフュロス』62号、pp. 1–2

『うえの』2015年3月号、pp. 37–39

『東京・春・音楽祭—東京のオペラの森2015』pp. 134–135

〔その他〕

国際会議参加：International Advisory Committee of Keepers of Public Collections of Graphic Art, XXIVth Convention at Washington, National Gallery of Art, May 18–23, 2014

在外研修：ボローニャ文化財・美術館特別監督局、2014年9月1日–11月30日

紀要編集